

TMPU JOURNAL

Vol.1

歴史ある
学び舎の信念を胸に
色とりどりの
ミライへ。

TMPU JOURNAL

 東北医科薬科大学
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



小松島キャンパス 〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号 Tel:022-234-4181 Fax:022-275-2013

福室キャンパス 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号 Tel:022-290-8850 Fax:022-290-8860



薬学部
薬学科特集

DEPARTMENT OF
PHARMACEUTICAL
SCIENCES

 東北医科薬科大学
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



色とりどりのミライを創る 卒業生たち

東北医科薬科大学は長い間、『薬科大』として愛され

東北の医療を支える人材を輩出してきました。

東北医科薬科大学となった今、その長い歴史が育んだ変わらぬ想いと卒業生たちの新たな歩み（ミライ）をご紹介します。

どうして薬剤師になりたいと思ったのか、

大学ではどんな学びがあったのかなど、

在学生や卒業生にインタビューをしました！是非ご覧ください。

薬学の幅広い活躍分野

薬学部薬学科の学生は、薬学の知識を深めながら、薬剤師国家試験に合格し薬剤師になることを目指して日々励んでいます。卒業後は、大学で学んだ薬学の知識を活かして以下の様な幅広い分野で活躍しています。

薬剤師免許必須

薬局・薬店

- 一般販売業者（卸売含む）管理者
- 調剤薬局
- 薬店管理者
- 調剤業務 など

医療機関

- 病院
- 診療所
- 調剤業務 など

公務員

- 薬事監視員
- 麻薬取締官
- 麻薬管理者 など

学校・企業

- 学校薬剤師
- 医薬品製造業管理者（一般販売業含む）など

薬剤師免許不要

製薬企業

- 医薬品メーカー
- 医薬関連研究機関
- バイオ研究機関

医薬関連研究機関

- 医療品卸業
- 臨床開発受託研究
- バイオ関連企業 など

公務員

- 保健所
- 自治体衛生研究所
- 食品衛生監視員 など

食品・化粧品企業

- 医薬品事業メーカー
- 化粧品メーカー
- 食品メーカー
- 化学工業 など



TIMIPU JOURNAL

調剤薬局勤務

P2

1

石井 美幌 さん(OG)
石井 康博 さん(OB)

調剤薬局勤務

P4

2

佐藤 里緒 さん(在学生)

病院薬剤部勤務

P5

3

畠山 美穂 さん(在学生)

漫画家

P6

4

三浦 えりか さん(OG)

会社経営

P7

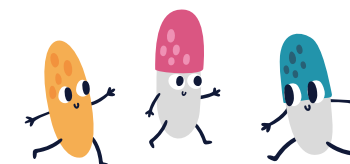
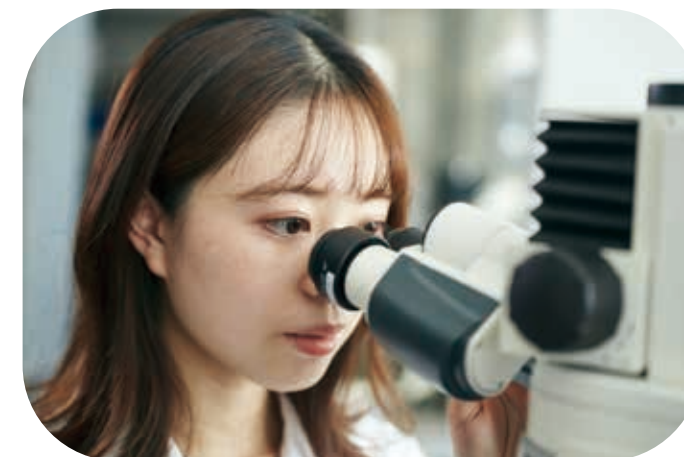
5

一條 宏 さん(OB)

CAMPUS GUIDE

P8

小松島キャンパス紹介



01

調剤薬局勤務

OG・OB
INTERVIEW

卒業生インタビュー

患者さんに向き合う。
理想像を目指し、
薬剤師としてそれぞれの
本学で出会い、結婚。



Q1 東北医科薬科大学を選んだ理由は？

“薬剤師といえば東北薬科大”という存在でした。

〈美幌さん〉地元仙台での進学を考えており、“薬剤師になるなら薬科大”というイメージが強くありました。やはり昔からある大学ですからね。

〈康博さん〉兄がこの大学に通っていたので、実際に兄から色々な話を聞いてとても魅力を感じ、私も同じ大学へ進学を決めました。薬剤師になるためのサポートが手厚い大学という印象がありましたね。

Q2 本学での学生生活はどうでしたか？

勉強もサークル活動も、思う存分取り組めた。

〈美幌さん〉分析サークル（当時）という、研究の初歩的な分析手法などを学ぶサークルに入っていました。学祭での研究発表や合宿など、大学生らしいことがたくさんできて楽しかったですね。難しい勉強について皆で話し合ったり、先輩に教わることもよくありました。夫とも、そのサークルで出会いました。

〈康博さん〉私はそこまでサークルでわいわいするタイプではなかったので…（笑）。

国家試験対策が充実していたことが印象に残っています。外部から講師の方が指導しにきてくれたこともありますし、合格へ向けたプログラムやフォローが手厚かったですね。

また創薬系の研究室に所属し、研究に没頭していました。難しい課題が多かったのですが、そこで学んだ分析から発表までの道筋の立て方や、物事に対する考え方は現在の仕事でも十分に役立てられています。

Q3 薬剤師になって感じる、東北医科薬科大学の強みは何でしょうか？

周りに卒業生が多く、気軽に相談できる。

〈美幌さん〉この分野における圧倒的なシェアの高さですね。実際に私が勤務している薬局の従業員は、ほとんどが東北医科薬科大学の卒業生で、サークルの先輩もいました。薬剤師として働き始めた当初はわからないことが多く、話し方ひとつとっても不安になることが多かったのですが、周りの先輩方に毎日のように相談していましたね。気軽に声をかけることができるのは心強かったですし、そのおかげで辛い時も乗り越えられました。

Q4 お二人の仕事内容について教えてください

患者さんの声に、耳を傾けられる薬剤師として。

〈美幌さん〉マリーン薬局で薬剤師として勤務しています。宮城県だけで展開してい

る地域密着型の薬局で、近所の方々がさまざまな病院の処方箋を持参されます。私の店舗には重い病気や難病をお持ちの患者さんもいらっしゃるの、服用する薬の種類が多い方もいます。それでも、それぞれの薬にどんな効能があるか理解してもらえよう丁寧な説明を心掛けています。〈康博さん〉私はトミザワ薬局で薬剤師をしています。以前は医師が出した薬を間違いなく飲んでもらうというところに重きを置いていましたが、それに加え現在では、患者さんから相談された話をしっかりと聞いて、症状を改善できるようアドバイスしています。

Q5 どのようなときに、やりがいを感じますか？

会話から治療へつなげ、患者さんの力になれたとき。

〈康博さん〉調剤薬局の窓口で、患者さんへ薬をお渡しする際の会話の中から、病気の原因となっていることを一つでも聞き出し、治療につなげられたときにやりがいを感じますね。その後、症状に改善が見られたときには、患者さんの力になれたと実感できます。

〈美幌さん〉患者さんと交流を深めると健康のことだけではなく、生活のことまで気軽に相談してくれるようになります。適切なアドバイスができると「石井さんが担当でよかった！」と感謝してもらえる機会もあり、「また、がんばろう！」と思えますね。

Q6 今後は、どのような薬剤師になりたいですか？

女性ならではの不安に、薬剤師として寄り添いたい。

〈美幌さん〉妊娠、出産など女性特有の不安に寄り添える薬剤師になりたいと考えています。また、私もそうですが幼いお子さんがいるお母さんは、薬に対して敏感になり、副作用などを気にする方が多いので、丁寧な説明で安心感を与え、心の面でサポートできる薬剤師になりたいです。〈康博さん〉新型コロナウイルスの影響から生活習慣の大切さを再認識することができたので、健康意識を高める啓蒙活動を行いたいと考えています。実際にお薬相



談会などを実施し、アプローチしていくつもりです。

Q7 夫婦で薬剤師を務めているメリット・デメリットはありますか？

互いに情報を共有し、薬局にフィードバック。

〈康博さん〉メリットは情報を共有できることです。新薬やジェネリック、薬の危険情報が出たときなど妻から教えてもらって、私が働いている薬局の同僚に伝えることもあります。

〈美幌さん〉逆もありますね。夫の薬局で行っていて良さそうな取り組みを、私の薬局で提案したりすることもあります。デメリットは互いの仕事のことをわかりすぎるので、つい話が熱くなりすぎてしまうことですね。

株式会社アクア
マリーン調剤薬局 勤務

石井 美幌さん

2014年3月 薬学部薬学科卒業
宮城県泉館山高等学校出身

株式会社トミザワ薬局 勤務

石井 康博さん

2014年3月 薬学部薬学科卒業
福島県立福島高等学校出身



02

調剤薬局勤務

STUDENTS
INTERVIEW

在学生インタビュー

在学中にインタビューを行いました!

日本調剤株式会社勤務

佐藤 里緒さん

2021年3月薬学部薬学科卒業
宮城第一高等学校出身

現場の体験で明確になった、
私の進むべき道。
先生や友人の支え、
手厚い就職サポートによって、
念願の調剤薬局に。

Q1 東北医科薬科大学を選んだ理由は?

地域に根ざした歴史と、
講義や国家試験対策が決め手に。

高校の授業で薬局を見学したり、薬剤師の方にお話を伺ったりしているうちに薬のプロとしての役割に魅力を感じ、薬剤師への道を志しました。進学にあたって、いくつかの大学を調べましたが、その中でも長い間地域に根ざし、講義や国家試験対策が充実していたことから、東北医科薬科大学を志望しました。

Q2 大学の雰囲気や学生生活について教えてください。

周囲の友人と助け合いながら、
絆を深められる。

東北医科薬科大学の学生は目的意識が高く、まじめな人が多い印象です。はじめは「こんなに勉強するのか」と驚きましたが(笑)、わからないことは皆で教

え合っています。また時間を見つけては、所属サークルでの活動や食事会を楽しんでいます。

Q3 就職活動はいかがでしたか?

充実したサポートの数々で、
安心して就活できた。

就職活動を始めた頃は「早く決めなきゃ」と焦っていたのですが、研究室の先生が親身に相談に乗ってくださったこともあり、自分のペースで進めることができました。おかげさまで志望していた調剤薬局から内定をいただくことができました。本学には「業界説明会」や「面接試験対策」、「マナー講座」など、さまざまな就職支援プログラムが用意されており、安心して就職活動に臨むことができました。化粧品メーカーの方による「就活メイク体験セミナー」も役立ちました!

Q4 インターンシップに参加した感想は?

現場で体感した、
薬剤師のやりがい。

4年次の春に、調剤薬局のインターンシップに参加しました。その調剤薬局には本



学の卒業生が勤務しており、仕事はもちろん、就職活動や勉強についても相談でき、とても心強かったです。実際の現場では患者さんが薬以外でもご自身の生活のことまで話してくださいました。それがとても嬉しくて仕事のやりがいを感じ、一人ひとりと長く付き合える調剤薬局に勤務したいという想いを強くしました。

Q5 将来は、どのような薬剤師になりたいですか?

患者さんの心に寄り添える
薬剤師を目指して。

処方箋がなくても、患者さんが食事や生活のことを気軽に相談してくれるような薬剤師になりたいです。また、より効果的にアドバイスができる薬剤師になるため、認定薬剤師の資格取得を目指して、これからも勉強を続けたいと考えています。

03

病院薬剤部勤務

STUDENTS
INTERVIEW

在学生インタビュー

在学中及び勤務開始後にインタビューを行いました!

東北大学病院薬剤部

畠山 美穂さん

2021年3月薬学部薬学科卒業
宮城県気仙沼高等学校出身

薬剤師として積極的に
チーム医療に参加し
さまざまな専門性と
多面的な視点で
患者さんを支えたい



Q1 東北医科薬科大学を選んだ理由は?

患者さんに寄り添って
いのちを支えたい。

医療の中でも、薬剤師は患者さんとの付き合いが長い期間にわたる部署になります。特に内科の病気の中には完治が難しいものも多く、薬が患者さんの生命線になることも。より身近なところでいのちを支えていきたい、という想いが、薬剤師を目指したきっかけです。さらに、病院勤務の薬剤師を志望する私にとって、在学中の実習からチーム医療の本質に携われる東北医科薬科大学が理想の学びの場でした。

Q2 大学では、どのような学びを得ましたか?

医療職種の視点を
IPE(多職種連携教育)の
実践で学びました。

通常、薬剤師は、処方箋にある薬を通して、治療効果や副作用を考えます。しかし、看護師の皆さんは、入院中の治療だけでなく、患者さんが退院後にどのような生活を望んでいるのか、患者さんの性格や生活習慣、家族構成、時には住まいの間取りまで考慮に入れ、「退院後のよりよい暮らしかた」に重きを置いている。これは、一緒に現場で実習を受け、たくさんお話ししなければ実感することができなかった視点でした。

Q3 薬剤師として実際に勤務されていかがでしょうか?

1枚の処方箋の背景には
患者さんや患者家族が。

学生時代の実務実習とは違う、薬剤師としての責任を強く感じる場面が多くあります。1枚の処方箋の背景には患者さんや患者家族がいること、他職種からの薬剤に関する問い合わせに対して根拠を持った

回答を意識することを臨床に出て改めて学びました。コロナワクチン調製業務もあり、日々忙しく緊張感が張り詰める場面もありますが、やりがいを感じながら働いています。

Q4 どのような薬剤師を目指していますか?

最大の効果と
クオリティ・オブ・ライフを叶える
処方提案をしていきたい

病気を治すということは、身体とともに心も治す = 患者さんが望んだ通りの生活を送れるようにするということだと思います。似たような効果を有する薬が数種あったとしたら、患者さんの「病院でどのように過ごしたいか、退院後どのように暮らしたいか」をちゃんと考慮して、最大の効果とクオリティ・オブ・ライフを叶える処方提案をしていきたいです。



04

漫画家

OG
INTERVIEW

卒業生インタビュー

漫画家

三浦 えりかさん

薬学部薬学科卒業

異例の転身で描く現場のリアル。

薬剤師から漫画家へ

三浦えりかさんの代表作
『処方箋上のアリアとは』

「月刊!スピリッツ」で好評連載中の「処方箋上のアリア」は、キレ者の薬局長・麻生葛と天然ボケボケの新米薬剤師・浜菱愛莉と共に薬局を訪れる人々の人間模様を描き出すヒューマン・ドラマ。リアルで詳細な描写は、作者である三浦えりかさんの経験に基づくもので、医療業界の真実を忠実に再現した作品です。

Q1 薬剤師になろうと思ったきっかけは何ですか？

薬がなぜ身体に効くのか、
興味が出て来て。

小さいころ身体が弱かったので、お医者さんや病院がとても身近だったんですね。それで、医療に関わる仕事をしたい、という希望はずっとありました。高校生になった時に有機化学の授業がとても面白

くて、そのうち“薬がなぜ身体に効くのか”とか、薬という物質そのものに興味が出て来て。そこから患者さんにアプローチして行けたらいいな、と、薬剤師を目指すことにしたんです。

Q2 その頃から漫画や作品作りも手がけていらっしゃったんですか。

本格的に描き始めたのは
病院薬剤師として働き始めてから。

こどもの頃から漫画家にはすごく憧れていたんですけど、ノートに鉛筆で落書きしたり、たまに四コマ漫画を描くぐらいでした。本格的に描き始めたのは病院薬剤師として働き始めてからです。

Q3 当時は、ご職業である薬剤師とはまったく関連性のない作品を描いていらっしゃいましたね。

漫画にしようと思ったことが
一度もなかったんです。

デビューから5年くらいはずっと少女漫画のフィールドで描いていました。薬剤師は自分にとってごく日常のことすぎて、漫画にしようと思ったことが一度もなかったんです。でも、恋愛がテーマじゃないものを描きたいな、と思って青年漫画誌に來た時に、担当編集の方が“薬剤師、おもしろそうじゃ

ん”って言うてくれて。それで初めて“ああ、薬剤師のお仕事って漫画のテーマになるんだ”って気づかせてもらったんです。

Q4 物語の中で起こる事件はどれも、誰にでもどこでも起こり得るものですね。

医療従事者と患者、両方の視点で、
偏りなく描いていきたい。

お薬が皆さんにとってとても身近な存在なんだよ、ということは伝えたいので、ストーリーは誰にでも起こり得ることを描いています。風邪薬も、ノリで飲んじゃってるみたいなのもいて、それが“危ないな”とずっと思っていたので、そうしたごく身近なものや小さなきっかけで起きてしまっている事故や事件を描くことで、不幸な出来事が減るきっかけになれば、と思っていました。病気でもなくとも薬剤師さんに気軽に相談に行っていいたい、薬剤師とは何者なのかという事が意外に知られていなかったと連載を始めて気付いたので、引き続き描いていきたいと思っています。

© 三浦えりか / 小学館



05

会社経営

OB
INTERVIEW

卒業生インタビュー

株式会社医療経営研究所
代表取締役社長
厚生科学審議会
医薬品医療機器制度部会 委員

一條 宏さん

1976年 薬学部薬学科 卒業

日々の取り組みに活用。

広い同窓生ネットワークを

Q1 貴社の概要について教えてください。

従業員の7割近くが、
東北医科薬科大学の卒業生。

株式会社医療経営研究所の主要事業は、調剤薬局の運営、医療機関などに対するコンサルティング業務です。全従業員約550名の内、7割近くを東北医科薬科大学の卒業生が占めており、主に薬剤師として患者さんに寄り添っています。

Q2 東北医科薬科大学の卒業生には、どのような印象をお持ちでしょうか？

専門性・自主性が高く、
優秀な人材が豊富。

調剤薬局の善し悪しは、そこで働く薬剤師の質によって決まりますが、東北医科薬科大学の卒業生は就職してからでも勉強熱心で、自主的に動ける人が多く、非常に助かっています。



Q3 東北医科薬科大学の強みはどこに感じられますか？

何かあれば助けてくれる、
安心の同窓生ネットワーク。

何と言っても広い同窓生ネットワークがあることでしょう。東北医科薬科大学の卒業生が活躍しているフィールドは、薬局や製薬会社をはじめとする医薬品業界に留まりません。教育・研究機関や一般企業、行政組織まで、幅広い領域にわたっており、皆さんが社会人として働く上で経験豊かなOB・OGが力強くサポートしてくれるはず。実際に私も、これまでたくさんの先輩方に助けていただきながら業務に励んでまいりました。

Q4 その同窓生ネットワークをどのように活用されていますか？

さまざまな組織の要職にある、
同窓生と連携を図る。

私は企業の経営者として、また厚生労働省の医薬品医療機器制度部会の委員として活動しています。その中で、調剤薬局の経営幹部や中央省庁の職員など、さまざまな立場にある同窓生と連携し、アドバイスを受けたり、意見交換したりすることで、広いネットワークを活かしています。



Q5 ほかに、東北医科薬科大学にはどんな魅力がありますか？

伝統に縛られずに変化できる、
柔軟性も魅力。

約80年の長い歴史を経て培われた柔軟性。これも魅力の一つです。これからは大学も時代にあわせて変化しなければなりません。その上で東北医科薬科大学は医学部の開設でも明らかに、伝統に縛られず、新しいものを取り入れられる柔軟性を持っています。これは今後も社会に必要とされる人材を輩出し続けるために欠かせない条件です。



インタビュー抜粋です。全文は本学ホームページをご覧ください。

CAMPUS GUIDE

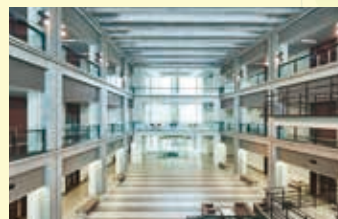
小松島キャンパス(薬学部・医学部1～2年次)



1 瞑想の松・展望台

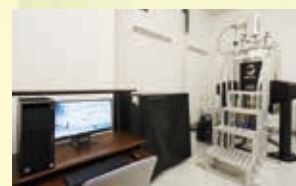


2 教育研究棟(ウェリタス)



模擬薬局やクリーンルームなど、最先端の施設・設備を整えています。

中央機器センター



ウェリタス地下に位置する施設。様々な実験装置が並び、卒業研究にも役立っています。

無菌室



実験や試験等で使用する施設。高カロリー輸液や抗癌剤の安全な調製方法について学びます。

模擬薬局



薬局そのものを再現した施設。調剤実習や模擬授業等で利用します。

3 講義棟



地上7階建ての講義棟には映像機器を備えた70周年記念講堂をはじめ、薬学部と医学部の講義室があります。4階には中央棟につながる連絡通路が設けられています。

4 中央棟



講義フロアと本部事務フロアがひとつになった中央棟。180席の大講義室、80席の小講義室が設置されているほか、学生相談に応える事務室、就職情報コーナー、保健管理センターなどがあります。

就職情報コーナー



事業所案内や就職情報誌の他、先輩から後輩へのアドバイス集などもそろっています。

8 学生ホール

レストラン



降り注ぐ陽光が心地良い、レストランとカフェテリア。憩いと語らいの空間で、開放的なテラス席が人気です。1階には売店や書店の他、クラブ・サークルの部室、会議室、音楽スタジオなどを設置しています。

カフェテリア



テラス席



ATM



書店



9 図書館・情報センター



1階及び地下には図書館を設置し、専門図書資料約10万冊を所蔵しています。2階には、充実のコンピュータ環境を備える情報科学センター、自習室を設置。学生ホールとは2階で連結しています。

10 実験動物センター



マウスやラットなどの哺乳動物を、24時間温度・湿度が一定のクリーンルームで飼育しながら、P2レベルからSPFレベルまでの様々な実験を行っています。

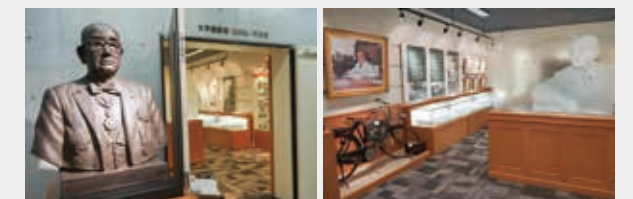
11 ラジオアイソトープセンター



放射線測定の基本実習をはじめ、放射性同位元素(ラジオアイソトープ)で標識した化合物を用いた結合試験やDNA合成能測定など、各教室の研究に広く利用されています。

大学創設者 高柳義一記念室

図書館・情報センターの地下1階に設置されている記念室。創設者高柳義一先生の教育的功績を、広く教育界に伝えるべく、本学創立70周年を記念した新キャンパス整備事業の一環として整備された施設です。先生の半世紀にわたる史的資料や、医学生時代より美術骨董品にご造詣の深かった先生が蒐集した数多くの美術品が収蔵陳列されており、先生の足跡や功績を知ることができます。



5 附属薬用植物園

「生薬」研究の材料供給と同時に、薬用植物に直接触れることのできる施設として実習等に活用。東北地方の気候・環境下で生育可能な薬用植物を中心に現在、約350種類を生育。



6 グラウンド・体育館・テニスコート



バスケットボールコート約2面分の広さの体育館。テニスコートは2面設置しています。

7 クラブハウス



各クラブ・サークル活動の拠点となるスペース。多目的に利用が可能です。